

専門職大学法案

新制度より既存の

# 大学・専門学校の支援を！

## 大平喜信衆院議員が文部科学委員会で質問

4月28日開かれた文部科学委員会で、日本共産党の大平喜信衆院議員（比例・中国）は、専門職大学法案（「学校教育法」の一部改正）について、その問題点に迫り反対しました。

### 設置基準の緩和で質の低下まねく 既存の大学などでも職業教育は可能



質問する大平喜信議員

の設置基準を踏まえて検討したい」と答弁。大平議員は、大学関係者からも「質の低下」に懸念が出ているとして「最低限の基準を下げてはならない」と強調しました。

大平議員がまず指摘したのが「設置基準の弾力化」の問題。中教審答申は専門職大学が社会人を受け入れることなどを理由に「（立地や施設等で）弾力的な対応が可能な基準の設定をおこなう」としています。

大平議員は「大学の設置基準は、学生の全人的な人格形成を促すための基準だ。校地面積が10平方メートル（学生1人当たり）以下、運動場も体育館もなくてよいとしないか」とただしました。文科省の局長は、面積などの基準は弾力的だと認め、「既存の大学や短大

次に指摘したのが、専門職大学がめざす教育像の不透明さです。①卒業単位の3〜4割以上が実習②長期の企業内実習③必要専任教員の4割以上が実務家教員、④産業界との連携――などの専門職大学の要件について、

大平議員は「既存の大学等で、できないのか」と追及。「可能だ」とする局長答弁に対して、国による私立大学の経常費補助率が1割を切っていることや専修学校関係予算が約36億円ときわめて少ないことなどを確認し、「新たな制度より」現行の大学や専門学校を支援することが重要だ」と指摘しました。

### 経済財政諮問会議の議論を批判

私学助成の抑制、国公立の枠超えた再編…

想定さ

れる」と

答えま

この日の委員会で大

めました。

平議員は、4月25日に

大平議員は、同会議

大平

開かれた経済財政諮問

の議論について「文科

議員は、

会議での私学助成の抑

省としても検討してい

再編統

制や国公立の枠を超

るのか」と質問。松野

合について「歴史も経

えた大学再編の議論を

博一文科相は私学助成

緯も役割も無視する乱

批判し、私学助成・国

の抑制は否定しました

暴な議論だ」と厳しく

立大学運営費交付金の

が、大学再編統合につ

批判しました。

基盤的経費の増額を求

